

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和2年(2020)2月10日

No. 146

発行 高津啓洋

本格的な剪定

レダの植樹園が本格的に手が入れられ、剪定がされています。20年以上の庭師の経験がある図師義継さんが、現地の従業員とともに、なかなか手入れができず、伸び放題だった木々の剪定をきれいにしています。

以前は、高津代表理事が直接、

植林と剪定を行ってきましたが、今回図師さんがレダでのシニアボランティアとして出発し、出発前には、高津理事長と綿密な計画を立てての出発となりました。

レダを訪れる人たちの目を楽しませています。

また花がきれいな、ハイビスカ

スや、ブーゲンビリアも美しく、勢いが増して伸びているそうです。

図師さんは6か月間、レダを中心に広大な面積の植樹園の管理方法を、現地の従業員にも伝えていくそうです。彼らが、その技術を習得したら、レダ周辺地域の村々

に植樹された木々の剪定にもいかされ希望が出てきます。

シニアのちから

シニアボランティアとして活躍する青木通泰さん(上の写真)は、レダの菜園を整備して、新鮮な野菜を日々提供してくれています。また豊村泰洋(下の写真)さんは、ポット苗づくりにいそしんでいます。

